

川崎市における官民での互助・共助の取り組み

第2層生活支援コーディネーターを小規模多機能居宅介護施設などに委託により設置した。小地域での互助・共助によって課題解決に取り組む。現在12事業所、今後は第8期かわさきいきいき長寿プランに沿い増やす予定。

体制整備に関するもの

② SC等の助け合い創出のプロセス

2021年9月1日(水)「結」ケアセンターいくた (株)日本ライフケア

2020年4月から生活支援コーディネーターを委託



▲子ども食堂や地域カフェなどを行うメンバーの一部



▲子ども食堂に来た地域のお子さん



▲子ども食堂の調理



▲地域カフェ いくたの丘カフェ ▲ネイル体験



川崎市 生活支援コーディネーター 南生田

店が近くに無い

川崎市・小地域における生活支援体制整備事業
小地域において個別支援と地域支援を有機的につなぎ合わせ、人と場、さらには個々の生活と地域をつなぐ取り組みを地域の介護サービス事業所に生活支援コーディネーターを配置して行う。住民・事業者等の主体との協働による地域の生活課題解決や閉じこもりの予防を目標にしている。

第2層 生活支援コーディネーター

住民の抱えている課題、地域の抱えている課題を住民とともに探ることで解決のための糸口や課題改善のための取組のきっかけを模索しています。

地域交流スペース いくたの丘

地域包括ケアシステムの構築のため、地域住民が集い、地域福祉のための活動や交流などを目的としたスペースとして認知症高齢者グループホームなどに設置。

掲示を見て問い合わせが多い

大きな壁があつたので、それを掲示板。印刷物をラミネートで貼っただけです。

商店まで徒歩20分 限定のパン販売

週1、2時間パン屋さんをやっています。コロナ禍で販売が落ちてい、店舗と協力。

地域に出る マルシエへ出店

地域のイベントに介護相談所として出店をしていく声掛けあり。

共助・互助

地域交流スペースを使い、カフェ、子ども食堂、麻雀、ヨガ、96歳の師範がする書道教室、ポッチャ、ピアノ教室などを近隣の人が行い通われています。

介護予防・相談

お気軽にご相談ください。地域での支え合い活動を生活支援コーディネーターがお手伝いします！(川崎市モデル事業)

連携

コミュニティの再編や地域の団体などの中間支援を行う多摩区ソーシャルデザインセンターや子ども食堂などのノウハウを持つNPO法人アイゼンと連携。



▲多摩SDC▼アイゼン

川崎市多摩区南生田

新宿から電車で20分の最寄り駅から徒歩25分。川崎市北部の多摩丘陵に、約40年前から開発された住宅地。当時から住む住民は高齢化が進み、8050も多いと言われている。

川崎市 健康福祉局 地域包括ケア推進室

発表は、(株)日本ライフケア、(株)「結」ケアセンターいくた、小規模多機能居宅介護生活支援コーディネーター 依隆典



← 詳しくは、<https://mailpost6.wixsite.com/minami-ikuta>をご覧ください